

# 青雲同窓会報

発行  
 岩手県立花北青雲高等学校  
 青雲同窓会  
 〒028-3172  
 岩手県花巻市石鳥谷町  
 北寺林11地割1825番地1  
 TEL 0198 (45) 3731  
 FAX 0198 (45) 3746  
 発行人  
 会長 藤原康洋

## 令和になって



同窓会会長

藤原康洋

日頃より同窓会の活動・事業に対しましてご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年五月、平成から令和に元号が変わり、新時代への期待感もあり、ことあるごとに「令和初の……」というフレーズが頻繁に聞かれました。令和元年の「今年の漢字」は「令」でしたが、「れいわ」という響きにも慣れてきました。新天皇のご即位など皇室関連の話題も多くありましたが、夏場

以降、毎月のような台風襲来による各地での大雨・強風などによる大きな災害の発生、身近なところで10月の消費税の引き上げなど歓迎されざる話題の方がすぐ頭に浮かびます。また、さんまや鮭もさっぱり獲れず、今冬の暖冬、小雪と続いています。IT分野といった新たな分野も含め各種産業技術が年々進化・発展し、暮らしていくうえで快適で便利になりましたが、本当にここ数年の気象・

気候に起因すると思われる被害は深刻です。よく温暖化による影響だといわれますが、我々が暮らしている地球自体の健康状態も気になるどころです。

話題変わって、県立高等学校再編計画についてです。当初の前期計画（平成二十七年～令和二年度）では、令和二年度から本校のビジネス情報科が一学級減となるものでしたが、入学者志願者数の推移や本校の教育活動などが総合的に検討された結果、実施が延期されました。また昨年夏以降、高校再編計画の後期計画（令和三年度～七年度）策定に向けて、県教委主催で県内地域ブロックごとに意見交換会が開催され、将

来に向けた地域内の高等学校の在り方や幅広い進路選択の観点など、広く地元の見解や要望を吸い上げました。また、本校でも県教委の出前説明会をお願いし、担当職員から後期計画策定について説明を受けた後、現在のビジネス情報科の二学級維持に向けて同窓会員、PTA会員ほか多くの方々から様々な視点から意見・提言をいただきました。何とかこちらの思いをくみ取っていただき、計画に反映されることを期待しております。

現在の同窓会は、昭和四十九年度に結成されましたが、令和元年度の卒業生百六十四人が入会し、現在の会員数は七千九百九十二人となりましたが、大きな節目となる学校創立五十周年も近づいてまいりました。会員の皆様には、これまで以上に学校・同窓会に対し、ご支援、ご協力を賜りますようよろしく願っています。



ロードレース

ごあいさつ



花北青雲高等学校  
校長 太田 優子

青雲同窓会の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、本校の教育活動にご理解とご協力を頂いておりますことに心より感謝申し上げます。令和となった今年度、本校は創立四十五年目となり総合的専門高校として再スタートしてから十七年目を迎えました。

「自立創造」の校訓のもと、生徒たちは進路を見据え、学習に部活動に積極的に取り組んでおり、今年度も様々な場面で活躍を見せてくれました。

部活動等では、バドミントン部女子が県高総体、新人大会優勝、陸上部女子やり投げは県高校新記録で県高総体優勝、新人大会優勝、

卓球部女子の全国選抜出場、文芸部の児童文学は県高総体最優秀賞、かるた、短歌、工学研究同好会のマイコンカー、O A部、情報処理競技やフラワーアレンジメントの全国大会出場などをはじめとし、準優勝や入賞も数多く、各部とも競技力や技術を向上させチームワークを高めて目標に向かい鋭意努力しました。

進路面では、公務員試験に延べ十九名が合格、民間と合わせた就職内定率は早い時期に100%となり、進学も国公立大学九名合格の他、将来の職業選択を見据えて上級学校に進学する生徒が今年度は卒業生の約半数となりました。

ボランティア活動にも積

極的に取り組み、視覚障がい者のフロアバレーボール大会補助員や高齢者施設への訪問、石鳥谷駅清掃などに多くの生徒が積極的に参加し、交流を深めながら自分たち出来る地域貢献を行っていきます。

さて、県の高校再編計画（前期）で予定されていた令和二年度のビジネス情報科一学級減は、地域産業の動向や志願者数の状況等から延期となっていました

が、令和二年二月六日に公表された後期計画（案）では、令和三年度から七年度の学級減は示されず現状維持となっております。今後は、パブリックコメント等を経て策定が進められていく予定とのことです。

本校は、県内屈指の商業高校を前身に現在は総合的専門高校として、工業、商業、家庭の学びを生かした特色ある教育活動を展開し地域産業の発展に寄与する人材を育成して参りました。今後、少子化等による生徒数の減少は避けられず、厳しい時代を迎えてい

きますが、総合的専門高校としての存在意義と、校訓「自立創造」の気概を改めて生徒たちと共有し、「青雲ならではの」「青雲だからこその」教育活動を充実させ、更なる発展に繋がるように取り組んで参りたいと存じます。

今後も地域との絆を深め信頼される学校を目指し、生徒の力を伸ばす教育活動に邁進して行く所存です。ご支援を引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



青雲祭 オープニングセレモニー



青雲祭 青雲マーケット



青雲祭 マイコンカーラリー実演

青雲同窓会総会

令和元年八月二十四日(土)、青雲同窓会総会が花巻市石鳥谷町の「新亀家」で開催されました。今年度から古希を迎える会員にも案内をお送りし、今年度の出席者は五十八名で、うち新卒は三名の参加でした。総会では平成三十年度の経過報告・決算報告とともに、令和元年度の事業計画・予算案が提示され、承認されました。

懇親会では、昨年引き続き青雲マスコットキャラクター「くもくま」グッズの抽選会で大いに盛り上がりました。また、卒業アルバムコーナーでは、学校生活の変化に驚きながら、花北商業から花北青雲へと歩んできた道を振り返っており、様々な世代で交流し、とても充実した総会・懇親会となりました。

青雲同窓会東京支部総会

令和元年六月十五日(土)、青雲同窓会東京支部総会が例年に引き続き東京都港区新橋の「うおや一丁」で開催されました。出席者は三十八名でした。

総会では、在校生の活躍や今後の学校再編計画の岩手県の動向について藤原会長からあいさつがありました。佐々木支部長からは、東京支部の会員を代表して在校生に向けてのメールをいただきました。また、昭和四十六年度卒業生の佐藤修悦様より、「ガムテープ文字で製作した同窓会看板」をプレゼントしていただきました。

懇親会では世代を越えて大いに盛り上がり、終始和やかな雰囲気で開催することができました。



役員紹介

会長	藤原 康洋	(昭和55年度卒)
副会長	佐々木 俊幸	(昭和49年度卒)
副会長	中村 弘樹	(昭和60年度卒)
理事	多田 義明	(昭和43年度卒)
理事	千葉 俊明	(昭和54年度卒)
理事	高橋 幸治	(昭和55年度卒)
理事	岡田 知穂	(昭和57年度卒)
理事	三宮 真利	(昭和57年度卒)
理事	小野 英二	(昭和61年度卒)
理事	佐藤 智栄	(平成4年度卒)
監事	伊藤 藤秀	(昭和58年度卒)

監事	菊池 司	(昭和60年度卒)
監事	柴田 晃子	(平成3年度卒)
顧問	阿部 正介	(昭和43年度卒)
顧問	高橋 安之	(昭和46年度卒)

東京支部

支部長	佐々木 則司	(昭和49年度卒)
副支部長	赤坂 智仙	(昭和63年度卒)
事務局	荒瀬 富姫子	(昭和47年度卒)
事務局	中島 清郎	(昭和62年度卒)
顧問	菅原 崇人	(昭和45年度卒)

令和元年度 事業

〈平成31年〉

4月6日(土) 入学式 於 本校第一体育館

10月24日(木) 青雲講演会 於 本校第一体育館

演題 「生き方・働き方を考えるきっかけに～命を燃やすものは、あるか～」  
 講師 岡田芳美氏 (平成15年度卒)  
 ゲスト 多田文子氏 (平成8年度卒)、佐藤勝也氏 (平成11年度卒)

〈令和元年〉

5月16日(木) 第1回理事会 於 本校小会議室  
 6月11日(火) 激励費交付式 於 本校多目的教室  
 6月15日(土) 東京支部総会 於 うおや一丁新橋店 (東京都港区新橋)  
 7月16日(火) 第2回理事会 於 本校小会議室  
 8月24日(土) 定期総会 於 新亀家 (花巻市石鳥谷町)

〈令和2年〉

1月23日(水) 第3回理事会 於 本校小会議室  
 2月28日(金) 同窓会報第40号発行  
 同窓会入会式 於 本校多目的教室  
 3月1日(日) 卒業式  
 4月上旬 会計監査

青雲講演会

「生き方・働き方を考えるきっかけに」  
命を燃やすものは、あるか？

講師 平成十五年卒業生

ゲスト 平成八年度卒業生  
平成十一年度卒業生

岡田芳美氏

多田文子氏

佐藤勝也氏

同窓生を講師として開催しております青雲講演会が、令和元年十月二十四日(木)、本校第一体育館にて開催されました。講師は、平成十五年卒業生の岡田芳美さんです。ゲストスピーカーとして、平成八年度卒業生の多田文子さん、平成十一年度卒業生の佐藤勝也さんのお二方にもお越し頂きました。

岡田さんは現在、「花巻市地域おこし協力隊」のメンバーとして、花巻市の魅力を全国各地に紹介しております。岡田さんは高校卒業後、東京のIT企業に就職。仕事をしながら夜間の専門学校にも通学し、多忙ながらも充実した日々を送っていました。岡田さんは、この二十代前半の時期に多くの経験を積み、社会人としての基礎を学ぶことができたと言っております。五年間勤めたのち、東京都

品川区商店街連合会に勤務し、商店街の活性化に向けて、様々なアイデアなどを提供してきました。その後は「今後の事を考えつつ、やりたいことをやる!」といった考えで、旅行・祭り・音楽・カフェのバイト・ワインエキスパート資格取得など、東京でしかできないような様々な事に挑戦しております。そのようなタイミンで、花巻市地域おこし協力隊の募集がありました。東京での経験を生かして地元の仕事に立てるかもしれないと考え、現在の仕事に携わっております。地域おこし協力隊では、SNSでの情報発信、お土産セットの選定、移住者のサポート事業などに取り組んでおり、一度花巻を出てから改めて地元の良さを発見できたそうです。今後も花巻市の魅力を更に発信していきたいというお話しをされました。そして、

後輩である生徒たちに伝えたいこととして、「人間関係を大切に」「その時の自分が後悔しない選択を」「人生に無駄なことは一つも無い」などのメッセージをいただきました。幅広い分野に挑戦している岡田さんのお話しを聞くことで、生徒たちの今後の人生に対する視野が広がったと思います。

二番目に、平成八年度卒業生の多田文子さんからお話しがありました。多田さんは高校卒業後、短期大学を経て児童養護施設や保育園で働いておりました。各施設についての説明や、苦勞での経験を基にお話しをいただきました。

「子育てで苦勞している保護者の立場にたつて、常に笑顔で接して保護者にも勇気づけてあげたい」「周りに助けられながら成長できた」などの実体験で感じたお話しから、保育士志望の多い本校生徒にも進路を考えるよいきっかけになりました。

三番目に、平成十一年度卒業生の佐藤勝也さんからお話しがありました。佐藤さんは現在、花巻市の民生生活総合センターで勤務しております。まずは高校時代のエピソードとして、三年生全員が進路決定している

なかで、自分の進路が決まらなくて苦勞したというお話しをされました。その後は様々なアルバイトをしながら試験勉強を継続し、当時の石鳥谷町役場に入庁されました。市役所では幅広い仕事を担当していくなかで、上手いかわないときもあつたそうです。仕事の経験から「我慢し、がむしゃらにやるしかない時もある」「今頑張れば後で楽になる」などと、佐藤さんが大切にしていることを伝えていただきました。

最後には、「命を燃やすもの、夢中になれるものを見つけてほしい」と、三名の講師の先生から後輩に向けてメッセージをいただきました。何事に対しても前向きに取り組み、様々な事に興味を持つことで自分の可能性が広がってくるとお話しされました。後悔のない人生を過ごすために、生徒は今回の講演会で学んだことを活用して今後の生活に繋げてほしいと思います。お忙しい中、貴重なお話しをいただき、ありがとうございます。



生徒たちの感想

●「経験すれば何か見えてくる」という言葉が印象的で、調べるだけではなく実際に足を運び、目で確かめる事を大切にしていきたいです。

●高校時代の資格は将来役に立つというお話しから、今後の自分の原動力として勉強を頑張っていきたい。

●その時の自分にとって最適な選択は何かよく考え、挑戦することを恐れず、人としての経験値を上げていきたいと思いました。

●改めて花巻市の良さを発見することができました。その地域のために想いを持って働いている人が多いから良い街になるのだと実感しました。今後はボランティアなどで地域のために貢献していきたいです。



# 同窓会員から

平成六年度卒業生

佐藤 雄 三



北商を卒業し二十五年… あつというまに月日が経ったなあと感じながら、在学中のことを思い返してこの原稿を作成しています。ご存知の方もいらっしゃるかとありますが、私はあまり人様に自慢できるような高校生活を送っていませんでしたので…。今回は、思い出の中でも「良い思い出」をピックアップしてご紹介させて頂きたいと思えます。

私は中学から始めたバドミントンを高校でも続けようと思ひ、進路を悩んでいました。が、尊敬していた渡辺清一選手（全国高総体制覇、全国社会人大会制覇などの実績があり、実業団で活躍後に花北青雲高等学校教員となられ教鞭をとる。）

が在学していた北商に入学することを決め、入学前から北商バドミントン部の練習に参加させて頂いておりました。

当時北商は、商業科2クラス、情報処理科1クラスの計3クラスで、比較的小規模な学校でしたが、クラブ活動が盛んで、さらに公務員合格率が県内トップという高校でした。校風は非常に明るく自由で、生徒が自ら考え行動するという、「自由」が大好きな私にとって、とても居心地の良い高校でした。

居心地の良さに加えて良き顧問、良き先輩、良き同級生にも恵まれ、クラブ活動にも拍車がかかり、高校二年では栃木インターハイ、高校三年では富山インターハイに出場させて頂きました。バドミントン部の仲間達と県内はもとより、東北6県、全国各地に大会や練習で行かせて頂いた思い出は私の一生の宝となっています。

そんなスポーツ実績はありましたが、素行の悪さから就職先も進路も決まらず、高校卒業後は盛岡市内の専門学校に一年間通うことに。人生初の大きな挫折でした。しかし、その一年間で私は、今まで自由気ままに生活し、どうにかなるさと思つて生きてきた自身を反省し、心改め人生初の猛勉強。翌年、花巻市消防本部に就職することができたのです。

現在、四十三歳になりました。こんな私ですが、家族を持たせて頂き、救急救命士として皆様の安心安全を守る尊い仕事を誇りを持って取り組んでいます。また、バドミントンも継続しており、クラブチームを立ち上げ、仲間達と各種大会に参加、慰労会では大いに酒を酌み交わし楽しんでおります。

ダラダラと私の思い出や近況をご報告させて頂きましたが、私が同窓会の皆様にお伝えしたい事は、高校時代の三年間、北商の素晴らしい校風の中で培った青雲魂で今も楽しく人生を満喫しているということです。また、在校生の皆さんに伝

えたいことは、自分の可能性を諦めず、若いうちにどんどん挑戦して前に進んで欲しいということです。

この先、様々な出来事が私を待ち構えていることでしょうか。しかし、壁にぶつかった時は、家族やたぐさんの仲間達と共に乗り越えて、皆で笑つて死ぬまで生きていきたいと思ひます。

一筋の道を行く我等。ありがとうございます。



## 第27回 岩手県混合ダブルスバドミントン



左から3番目が佐藤さん

### 同窓会事務局より

#### 住所変更の連絡にご協力を

同窓会の大きな役割として、同窓会名簿の整備作業があります。これは同窓生の皆さんへの連絡をスムーズに行うために不可欠なものです。

引越・転勤・婚姻等により登録内容に変更が生じましたら、お手数ですが事務局までご連絡ください。

発行40号記念企画

あの日あの時

●花北商業から花北青雲へ（平成十五年度）

同窓会報節目の四十号を記念して、学校の過去を振り返る企画。今回は、平成十五年に学校再編によって花北商業から花北青雲へと校名が変わり、情報工学科、ビジネス情報科、総合生活科の三学科からなる、県内初の総合的専門高校としてスタートを切った年にスポットをあてました。

入学と同時に校名が変更した平成十五年度入学生の四名、情報工学科卒 野球部所属「高橋幸広さん」、ビジネス情報科卒 野球部所属「齊藤浩之さん」、ビジネス情報科卒 ソフトボール部所属「佐藤志保子さん」、総合生活科卒 ソフトテニス部所属「伊藤美真さん」に当時の様子を語っていただきました。（以下敬称略）

①花北青雲の校名にどのような印象をもちましたか？

高橋 花北商業から花北青雲に変わっての一期生の入学だったので、校名含めて全てが新しく感じました。

齊藤 商業高校のイメージでしたが、校名変更により何もかもが新しい高校という印象が強いです。

佐藤 私は小学校高学年から、花北商業高校（北商）に憧れを持っていました。学校名が変わることに對して、わずかながら残念に思っていました。花北青雲という校名を知ったとき、花北商業の花北が残っており、総合的な専門高校として学科が増えても、花北商業の伝統や歴史が感じられる気がしました。

②当時の学校の様子はいかがでしたか？

高橋 科にこだわらず、学年全体でコミュニケーションがとれていて、上の学年、また先生とも非常に仲の良い学校と感じていました。

齊藤 高校の授業、部活動に加えて応援歌練習などもあり毎日慌ただしかった記憶しかありません。

③学科が増えることで学校はどのように変化しましたか？

高橋 学科が変わってからの入学となり、専門的な科目を学ぶこととなりましたが、身近に違う科目があるので少し知るだけでも良い刺激となりました。

齊藤 ビジネス情報科だったので、元々あった学科からそこまで変わった印象はありませんが、より専門的

④印象に残っている行事を教えてください。

高橋 入学早々の応援団による校歌指導で、中学とは違った厳しさや伝統というものを教えていただきました。

齊藤 球技大会、学年関係なく真剣勝負で取り組んで、自分が参加していない競技でもみんな応援したり、よりクラスの団結力が深まった良い行事だったと思います。

佐藤 一月に推薦入試を受験したとき、新校舎と旧校舎の渡り廊下のすぐ前の教室が試験室でした。当時は工事中であつたため、まだ渡り廊下が完成しておらず、寒かったなという記憶があります。整容点検の日は生徒課の先生が駅前まで待ち伏せして、ルーズソックス狩りをしていました。

⑤当時の部活動の様子について教えてください。

高橋 上下関係の厳しさはもちろん、礼儀に對しても指導を仰ぎ、それはどの部活も同じで今の自分の社会人としての行いに役立っていると感じています。

齊藤 一年生は雑用メインの日々の中、上級生からも厳しく指導を受けましたが、その時学んだ礼儀などは社会人になった今も役立っていると思います。

佐藤 私はソフトボール部でした。高総体が学校の隣の石鳥谷ふれあい運動公園で開催されますが、3年生の高総体では初めて全校応援になりました。クラスの友達に声をかけてもらい、励みになりました。基本的に高校生活は部活動漬けでしたが、シーズン中は始発で登校し朝練、石鳥谷駅発二十一分二十分まで自主練という時期も大会前にあり、授業中に意識が飛ぶ場面がありました。先生方は怒鳴るのではなく、むしろ高総体頑張れよといつて起こしてくれた先生もおり、自分たちのために勝たないというよりは「絶対勝つてみんなに喜んでもらおう」という気持ちのほうが強かったかなと思います。

伊藤 先輩後輩関係なく仲良く、明るい



高橋幸広さん



齊藤浩之さん



佐藤志保子さん



伊藤美真さん

⑥後輩にエールを！

高橋 高校で学んだ基礎的な知識は必ず社会人になっても役に立ちます。今だけと思わず、今のうちにたくさん知識を吸収し、楽しい三年間を過ごしてください。頑張ってください。

齊藤 色々な選択肢があると思いますが、自分が進みたい道を見つけて進んでいってほしいと思います。

佐藤 卒業生ということもありますが、花北青雲高校はとてもいい学校だと思っています。それは学業も部活動も両立しつつ、学校行事などで熱く学校生活を送り、どれかに偏ることなくバランスがよいのではないかと思います。在校生の皆さんや新入生には、「花北青雲高校に入学してよかったな」と思えるような学校生活を過ごしてほしいです。そのためにも、自分が熱中できるものを探したり、その道を目指すべく打ち込む時間や場面をとって、多くのことを得てほしいと思います。限られた時間を大切に過ごしてください!!

伊藤 今しかできないことを全力で楽しんで下さい!!

齊藤 野球部が甲子園に出場するのを心待ちにしています!!

4名の卒業生の皆さん、お忙しい中ご協力ありがとうございました。



# 新聞記事より

## 若さあふれる表現力

### 盛岡・短歌甲子園出場の県勢

第14回全日本短歌大会（盛岡甲子園、実行委員長 藤田 隆）第2日は17日、盛岡市松尾町の盛岡球場で盛岡県1次リーグと個人戦が行われ、主場が存続できる表現力を発揮した。各校では盛岡県選考の盛岡三が決勝に進出した。

盛岡三は花北青雲、盛岡三、盛岡三が出場。2校がアベックにひかれて勢ぞろい戦を演じた。先鋒、中盤、大将の3人組が年々力をつけてきた盛岡三は、優勝候補に推された。優勝候補に推された盛岡三は、優勝候補に推された。



花北青雲高  
川崎 美穂  
川崎 美穂  
川崎 美穂

川崎 美穂  
川崎 美穂  
川崎 美穂

岩手日報  
令和元年8月18日

## 対話重ね競技力向上

### 県内外高校が合宿

初日、地域おこし効果検証も

県内外の高校が合宿を行いました。対話を重ね、競技力を向上させることが目的です。初日は、地域おこし効果を検証しました。



岩手日日  
令和元年8月7日

## 花北青雲15安打圧勝

### 水沢一、初回先制実らず

花北青雲高校野球部が、水沢一高校と対戦し、15安打を打ち、圧勝しました。水沢一は初回先制打を打つことができませんでした。



岩手日日  
令和元年7月18日

## 高校生開発品つくり

高校生が開発した商品についての記事。学生たちが創意工夫を凝らした商品を開発しました。

岩手日日  
令和元年12月1日

## マイコンカータイム競う

### 岩手工業系高校生個人出場

マイコンカーのタイムを競う大会が行われました。岩手工業系の高校生が個人で出場しました。

岩手日日  
令和元年11月5日

## 熱血指導

### 地元保育園で教室

#### 普及へ楽しさ伝える

熱血指導の教室が、地元保育園で開催されました。楽しさを伝えるために、熱心な指導が行われました。

岩手日報  
令和元年11月2日

## 多田さん(2年)が優秀賞

### 豆乳レシビ甲子園

#### カルボナーラを工夫

多田さんが考案した「お野菜ごろごろソイボナーラ」が、豆乳レシビ甲子園で優秀賞を受賞しました。カルボナーラに野菜を工夫して入れたのがポイントです。



岩手日日  
令和元年12月4日

## 売れる商品デザインは

### プロショップ高校生、大学生がアイデア

プロショップの高校生と大学生が、売れる商品のデザインを競いました。アイデアが勝負でした。

岩手日日  
令和元年12月4日





# 令和元年度部活動成績

## ●●全国大会出場●●

### 【バドミントン部】

○第70回全国高等学校バドミントン選手権大会  
女子学校対抗 出場  
個人対抗  
女子ダブルス  
吉村美耶・佐々木梨子(2回戦進出)  
女子シングルス  
吉村美耶(2回戦進出)  
佐々木梨子

○第38回全日本ジュニアバドミントン選手権大会  
ダブルス  
佐々木梨子・高橋美萩  
シングルス 熊谷 雅

### 【卓球部】

○第47回全国高等学校卓球選手権大会  
女子シングルス 佐藤 雅

### 【陸上競技部】

○第72回全国高等学校陸上競技選手権大会

### 手権大会

女子やり投 27位 佐々木雅

○第74回国民体育大会陸上競技女子やり投 第22位 佐々木雅

○第13回U18日本陸上競技選手権大会女子やり投 第13位 佐々木雅

### 【OAO部】

○第66回全国高等学校ワイプ口競技大会 第50位 及川雄斗

### 【文芸部】

○第43回全国高等学校総合文化祭2019さが総文小倉百人一首かるた部門 正木鈴音(岩手県代表)

○第14回全国高校生短歌大会短歌甲子園2019 団体 佐々木・川村・照井

### 【教科等】

○第31回全国高等学校情報処理競技大会 鎌田 祥

○第18回全国高校生フライングアレンジメントコンテスト  
伊藤かがり  
○ジャパンマイコンカーラリー2019全国大会  
大町雅哉

## ●●東北大会出場●●

○第48回東北高等学校バドミントン選手権大会  
男子学校対抗 ベスト8  
女子学校対抗  
個人対抗  
男子ダブルス  
菅原祐成・川畑光  
女子ダブルス  
吉村美耶・佐々木梨子  
柳村優歌・高橋美萩  
女子シングルス  
熊谷 雅(2回戦進出)  
吉村美耶

○第74回国民体育大会東北ブロック大会少年女子 吉村美耶・熊谷 雅

○第48回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会  
男子学校対抗 ベスト8  
女子学校対抗 ベスト8  
個人対抗  
女子ダブルス  
佐々木梨子・高橋美萩  
熊谷 雅・吉田愛梨

○第73回東北高等学校卓球選手権大会  
男子ダブルス 佐藤・小田島  
女子ダブルス 玉山・玉山  
シングルス 佐藤 雅

○第43回東北高等学校選抜卓球大会  
男子学校対抗 出場  
女子学校対抗 出場

○第74回東北高等学校陸上競技大会  
男子走高跳 平野悠斗  
女子やり投 第2位 佐々木雅

○第24回東北高等学校新人陸上競技選手権  
男子走高跳 第19位 平野悠斗  
女子やり投 優勝 佐々木雅

○第46回東北総合体育大会陸上競技女子やり投 第7位 佐々木雅

○第46回東北六県高等学校珠算・電卓競技大会  
珠算個人総合 富岡輝希

○第57回東北六県高等学校ワイプ口競技大会  
個人の部 第18位 及川雄斗

○第12回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた選手権大会  
団体  
第3位 正木鈴音(岩手県代表)

○第17回末の松山杯争奪北東北中・高校生かるた大会  
B級 第2位 細川修太郎

○第26回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた新人大会  
団体  
第4位 菊池恭平(岩手県代表)

○第66回春季東北地区高校野球県大会  
ベスト16

○第71回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技  
女子学校対抗 優勝  
個人対抗 優勝  
男子ダブルス  
ベスト4 菅原・川畑

# 女子投げやり 初V(花北青雲) 佐々木



投げやり(花北青雲)の佐々木雅。初優勝を挙げた。

2年生の平アが快挙の初V。投げやり(花北青雲)の佐々木雅(北)が、女子投げやりで初優勝を挙げた。投げやりは、投げやり(花北青雲)の佐々木雅(北)が、女子投げやりで初優勝を挙げた。投げやりは、投げやり(花北青雲)の佐々木雅(北)が、女子投げやりで初優勝を挙げた。

## 49歳会心アイチ 佐々木

2年生の平アが快挙の初V。投げやり(花北青雲)の佐々木雅(北)が、女子投げやりで初優勝を挙げた。投げやりは、投げやり(花北青雲)の佐々木雅(北)が、女子投げやりで初優勝を挙げた。

## 県高校記録を大幅更新

投げやり(花北青雲)の佐々木雅(北)が、女子投げやりで初優勝を挙げた。投げやりは、投げやり(花北青雲)の佐々木雅(北)が、女子投げやりで初優勝を挙げた。

岩手日報  
令和元年5月24日

## 花北青雲、女子6連覇

大会	種目	選手	順位
第71回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技	女子学校対抗	佐々木梨子・高橋美萩	優勝
第71回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技	個人対抗	佐々木梨子	優勝
第71回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技	男子ダブルス	菅原・川畑	ベスト4
第71回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技	女子学校対抗	佐々木梨子・高橋美萩	優勝
第71回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技	個人対抗	佐々木梨子	優勝
第71回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技	男子ダブルス	菅原・川畑	ベスト4



岩手日報  
令和元年6月2日

## ●●県大会入賞●●

○第10回全国高校野球選手権岩手県大会  
ベスト16

○第66回春季東北地区高校野球県大会  
ベスト16

○第71回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技  
女子学校対抗 優勝  
個人対抗 優勝  
男子ダブルス  
ベスト4 菅原・川畑

- ベスト8 砂川・石田  
長谷川・瀬川
- 女子ダブルス 優勝 吉村・佐々木  
第3位 柳村・高橋  
ベスト8 熊谷・吉田  
清水・伊藤
- 男子シングルス ベスト8 砂川竜輝、長谷川祥大  
女子シングルス 優勝 吉村美耶  
第2位 佐々木梨子  
第3位 高橋美萩  
ベスト4 熊谷 雅
- 第64回岩手県種目別バドミントン選手権大会  
男子ダブルス 第2位 砂川・石田  
第3位 長谷川・瀬川  
女子ダブルス 優勝 熊谷・吉田  
第3位 吉村・佐々木  
ベスト8 柳村優歌・高橋美萩  
清水・伊藤
- 男子シングルス ベスト8 砂川竜輝、菅原祐成  
女子シングルス 優勝 熊谷 雅  
第3位 吉村美耶  
ベスト4 高橋美萩  
ベスト8 若生通奈、佐々木梨子
- 第59回岩手県高等学校新人バドミントン大会  
男子学校対抗 第2位  
女子学校対抗 優勝  
個人対抗
- 男子ダブルス 第3位 菅原・川畑  
ベスト8 瀬川・長谷川  
伊藤・菊地
- 女子ダブルス 優勝 佐々木・高橋  
第2位 熊谷・吉田  
第3位 阿部・清水  
ベスト8 小原・伊藤
- 男子シングルス 第2位 長谷川祥大  
女子シングルス 優勝 高橋美萩  
第2位 熊谷 雅  
第3位 阿部陽菜  
ベスト8 伊藤優花  
吉田愛梨

- 第20回岩手県高等学校選抜バドミントン大会  
男子学校対抗 優勝  
女子学校対抗 優勝
- 【卓球部】  
○第71回岩手県高等学校総合体育大会卓球競技  
男子学校対抗 ベスト8  
個人対抗  
男子ダブルス ベスト8 佐藤・小田島  
小田島・金澤  
女子シングルス 第6位 佐藤 佳  
女子ダブルス ベスト8 玉山・玉山
- 第65回岩手県高等学校新人大会卓球競技  
男子学校対抗 第3位  
個人対抗  
男子シングルス 第11位 小田島和希  
男子ダブルス 第3位 小田島・金澤  
女子シングルス 第6位 佐藤 佳  
女子ダブルス ベスト8 玉山・玉山
- 第43回東北高等学校選抜卓球大会岩手県予選  
男子 第2位 (東北大会出場)  
女子 第2位 (東北大会出場)
- 【バレーボール】  
○第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会  
女子 ベスト16
- 【ソフトボール部】  
○第71回岩手県高等学校総合体育大会ソフトボール競技  
ベスト8
- 【柔道部】  
○第71回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技  
個人73kg級  
ベスト8 鎌田 優
- 【女子サッカー部】  
○第71回岩手県高等学校総合体育大会女子サッカー競技  
第3位
- 第54回岩手県高等学校新人サッカー大会  
第3位

- 【陸上競技部】  
○第23回みちのく春季陸上二関大会  
男子走高跳 第3位 平野悠斗  
女子やり投 優勝 佐々木雅  
女子800m 第5位 佐々木優希  
女子3000m 第7位 小原あい  
男子走高跳 第4位 平野悠斗  
女子やり投 優勝 佐々木雅
- 岩手県春季陸上競技大会  
男子走高跳 第4位 平野悠斗  
女子やり投 優勝 佐々木雅
- 第71回岩手県高等学校総合体育大会陸上競技  
男子走高跳 第6位 平野悠斗  
女子やり投 優勝 佐々木雅 (県高校新記録)  
女子400m 久保花月 (準決勝進出)  
女子800m 佐々木優希 (準決勝進出)  
女子4×400mR 準決勝進出
- 岩手県陸上競技選手権大会  
女子やり投 優勝 佐々木雅
- 第71回岩手県民大会  
2部男子走高跳 第2位 平野悠斗  
2部女子やり投 優勝 佐々木雅  
3部女子3000m 第3位 高橋 萌
- 第70回岩手県高等学校新人陸上競技大会  
男子走高跳 第3位 平野悠斗  
女子やり投 優勝 佐々木雅  
男子800m 菊池温人 (B決勝進出)  
女子800m 第8位 佐々木優希
- 全国高等学校駅伝競走大会県予選団体  
第19位相当 花北青雲・釜石合同
- 岩手県高等学校女子駅伝競走大会  
第10位
- 2019岩手県秋季陸上競技大会

- 男子800m 第8位 菊池温人  
男子走高跳 第5位 平野悠斗  
女子400m 第8位 佐々木優希  
女子800m 第4位 佐々木優希  
女子やり投 優勝 佐々木雅
- 【女子ソフトテニス部】  
○第64回岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技  
団体 ベスト16  
個人対抗 ベスト32 川村・阿部
- 第51回岩手県高等学校選抜インドアソフトテニス大会  
団体出場 川村・阿部 出場  
個人対抗
- 【OAB部】  
○令和元年度岩手県高等学校ワープロ競技大会  
個人の部 第5位 及川雄斗
- 【珠算部】  
○令和元年度岩手県高等学校珠算・電卓競技大会  
珠算団体総合競技 第2位  
電卓団体総合競技 第2位  
種目別競技読上算競技 第2位  
種目別競技読上算競技 第3位 大崎 藍  
種目別競技読上算競技 第1位 後藤風香  
電卓 第2位 高橋里奈
- 令和元年度岩手県高等学校新人珠算・電卓競技大会  
個人総合 富岡輝希 (東北大会出場)
- 【文芸部】  
○第26回岩手県高等学校からた選手権大会  
個人 第8位 正木鈴音  
団体戦 第5位 青雲Aチーム (大泉・細川・正木・菊池・菅原)
- 第42回岩手県高等学校総合文化祭  
小倉百人一首かるた部門  
個人 岩手県代表 菊池 (東北北海道新人大会出場)
- 岩手県高校生文芸コンクール  
詩部門 優良賞 川辺眞子  
児童文学部門 最優秀賞 照井結奈

- 入選 田面山沙希  
戯曲部門 優秀賞 佐々木愛梨  
短歌部門 入選 川村純華  
入選 滝浦ゆいな
- 岩手県高校生文芸コンクール  
文芸誌部門 優良賞
- 【情報工学科】  
○ジャパンマイコンラリー北東北地区大会  
Advanced Class 優勝 大町雅哉  
優勝 ものづくりコンテスト  
2019岩手県大会  
電子回路組立部門 第6位 佐々木志恩
- 【英語科】  
○第39回岩手県商業高等学校英語スピーチコンテスト  
スピーチ部門 第3位 武田玲奈
- 【ビジネス情報科】  
○岩手県高等学校情報処理競技大会  
個人の部 鎌田 祥 (東北大会出場)
- 【総合生活科】  
○第18回全国高校生フラーアレンジメント岩手県予選  
個人 銀賞 伊藤かがり  
○第6回豆乳レシメ子園  
個人 豆乳×野菜部門 優秀賞 多田 葵

**お知らせ**

同窓会では毎年、卒業記念品として卒業証書ホルダーを贈っております。

**卒業証書**

岩手県立花北青雲高等学校